

グループワーク

～相談例に対するQ & Aを作成してみよう！～

肝炎情報センター 竹内泰江

グループワークの目的

今回のテーマは

『相談例に対するQ & Aを作成してみよう！』



相談内容の記録・検索・編集



公開事例 (2193件公開中)



質問箱

- 相談支援システム登録者のご協力で公開事例は2000件を超えました!! (ありがとうございます)

- 相談内容は多岐にわたっており、1つの相談内容に含まれる指導や支援内容は複数含まれます。
- シンプルなQ & Aを作成することによって、相談対応初心者でも質問の組合せによって、他の施設と同じような対応をとることができ、均てん化につながるのではないのでしょうか？

グループワークの進め方

時間	内容
14:25～14:30 (5分)	・ 自己紹介 名前、職種、今年度肝Coとしてどのような活動を行ったか ・ 記録者、発表代表者を決める <u>※医師以外でお願いします</u>
14:35～15:25 (55分)	＜検討事項＞ ①グループワークメンバーで事例を作りましょう。 どのような事例にしていったらいいか困った場合には、相談支援システムに投稿あった公開事例内容を進行係へ参考資料としてお渡ししています。 ②事例から考えられる課題や解決方法を挙げていきましょう。 全員が発言できるよう、進行係は促しをお願いします ③シンプルな文面でQ & Aをたくさん作ってみましょう。

<相談内容>

グループワークのメンバー皆で検討できるような事例を組み立てましょう

グループワークの進め方 ②課題と対応案抽出

<課題>

- ① * * *
- ② * * *
- ③ * * *

<対応>

- ① * * *
- ② * * *
- ③ * * *

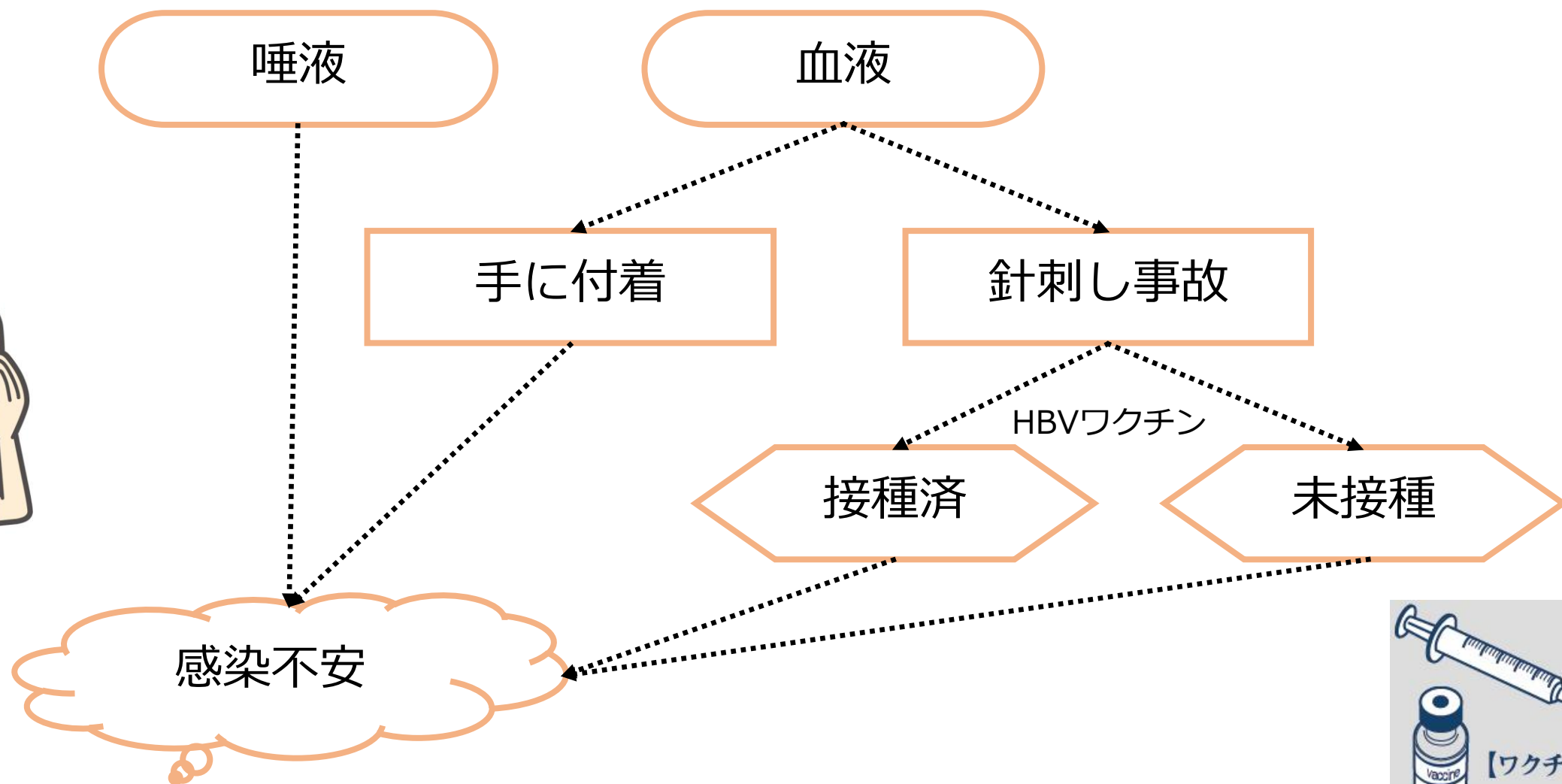
ご施設でどのような資材や取組、活動を行っているかも情報交換しましょう。

グループワークの進め方 ③ Q & A を作る

相談内容 (Question)	回答 (Answer)
血液に触れてしまい、感染が不安。	
検診で肝機能異常を指摘されたが、どの医療機関を受診したらよいか。	
肝炎治療に関する医療費助成制度が知りたい。	

- 抽出した質問案が多岐にわたる場合は、優先順位を決めて回答案に着手しましょう。
- 質問案を作る場合は以下を意識してみましょう。（片寄りすぎないように！）
 - 病気について（病態／検査結果の解釈／治療・副作用 etc.）
 - 助成制度（国の支援）について
 - ウイルス性 or 非ウイルス性
 - その他（医療機関紹介／差別偏見／訴訟 etc.）

事例① 感染が不安

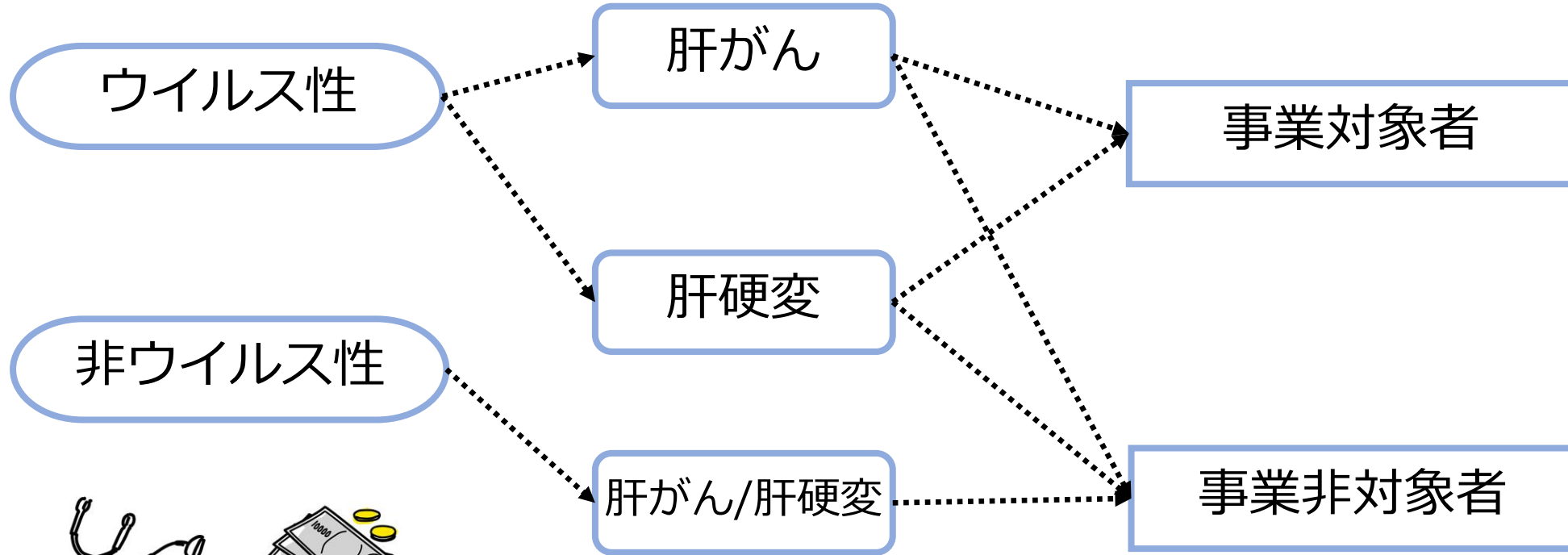


事例① 感染が不安

＜事例を考えるポイント＞

- ◎ 相談者は非医療従事者 o r 医療従事者？ 血液（体液）曝露しやすい環境下？
- ◎ なぜ相談者は感染に対する不安を持ったのか。
 - ・ 感染症に対する知識の欠如による漠然とした不安感
 - ・ 感染リスクとなるエピソード
- ◎ 触れた血液（体液）の持ち主は肝炎ウイルス感染の有無が判明しているか否か。
e t c .

事例② 肝がん／肝硬変の患者さん



医療費の不安

疾患・治療の不安

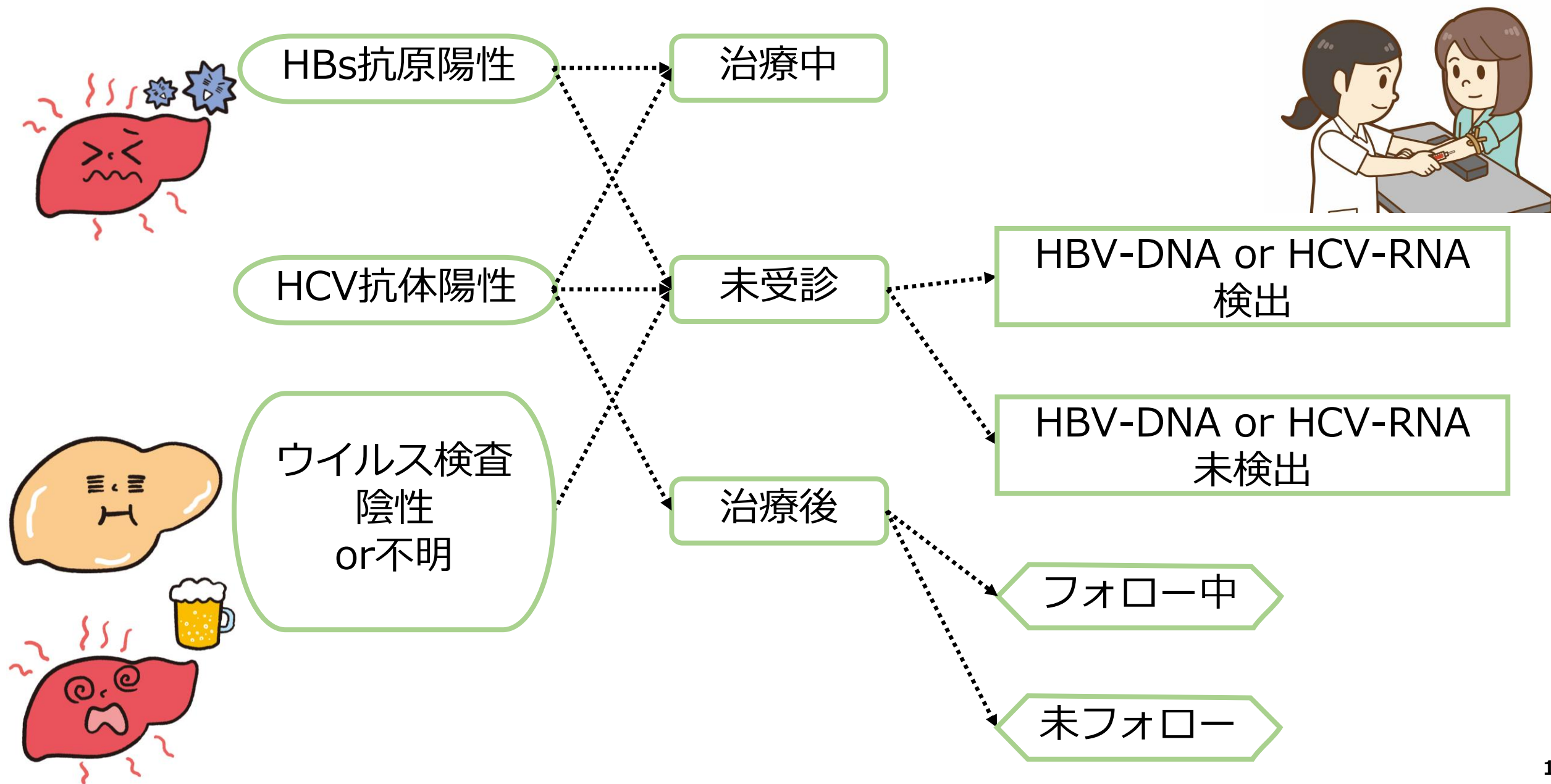
事例② 肝がん／肝硬変の患者さん

＜事例を考えるポイント＞

- ◎ 相談者は本人？家族？？
- ◎ 事業対象者に該当した場合、ご高齢で手続きの理解が難しい時は？
- ◎ 事業非対象者であった場合、何か国の制度で使えるものがあるのでしょうか？
- ◎ 病態や副作用についての質問があった場合はどのように説明しますか？

e t c .

事例③ 肝機能異常を指摘された



事例③ 肝機能異常を指摘された

<事例を考えるポイント>

- ◎ 相談者は肝炎ウイルス検査を受けたことがあるか。
 - ・ 検査結果を覚えている？（or覚えていない／分からない）
 - ・ 相談者の検査結果の解釈は合っている？
- ◎ 肝機能異常の原因によってどのような助言を行うか。
 - ・ HBV／HCVなら？
 - ・ 非ウイルス性なら？
- ◎ 忙しくて通院のための休みがとりにくい／血液曝露の機会がある職場
→ 肝炎ウイルス検査陽性結果を職場へ申告する必要がある？

e t c .